

# 人工鼻の使用

## 人工鼻とは

人工鼻は、気管切開などを行った場合、自発呼吸が安定しているとき・呼吸器を使用しない時に使うもので、鼻の代わりに加温加湿を行う器具です。



図1 酸素ポートなしの人工鼻

気管切開を行ったお子様は、喉の開口部（気切孔）から空気を取り入れる事になり、空気が鼻を通ることがなくなります。通常は息を吸い、鼻を通る時に空気に温度と湿度を追加して、気管を痛めないようにする機能があり、これを代行するのが人工鼻です。

## 人工鼻のしくみ

人工鼻は、電気も水も使わずに加温加湿が可能です。

吐く息には、水分と熱が含まれています。水分は、水蒸気になっており、冬に息が白くなるのはこの水蒸気が冷えて水滴状になるためです。

人工鼻は、吐く息に含まれている熱や水蒸気を外に逃がさない機能があります。



人工鼻には、フィルターが取り付けられており、吐く息が人工鼻を通過する時に、このフィルターに熱と水蒸気を蓄えられるようになっていきます。

この仕組みのために、人工鼻の内部には水分が溜まりやすく、水抜きが定期的必要となります。

## 人工鼻の交換

人工鼻は、水滴や上がってきた痰で汚染されることがあります。また、入浴中に水没してしまった場合は、通気性が保てなくなります。汚染した人工鼻はフィルターの機能が悪くなり、呼吸が苦しくなることがあります。使用頻度にこととなりますが、24時間使用する場合は、1日に1回又は汚染時に交換しましょう。更に、一時的に使用する場合は、汚染した場合に新しい物に交換しましょう。

## 酸素の使用法

酸素を使用したい時には、グリーンチューブを接続することで酸素を流すことができます。SP02が十分保てない時には酸素を流して使用しましょう。

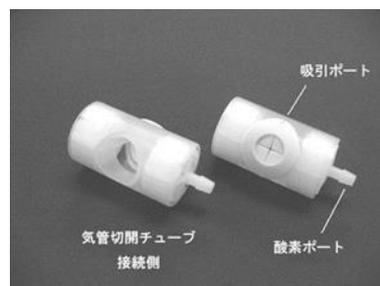


図2 酸素ポート付人工鼻

